



後期人権集中学習旬間 12/1～15

12月1日(月)より後期人権集中学習を実施しました。この取組は、人権にかかわる学習を集中的に行うことにより生徒や教職員の人権意識を高め、みんなが安心して生活できる学校をつくることをねらいとしています。本校では、JRC・ユネスコ委員会の皆さんが中心となって企画・運営してくれています。期間中は次の活動が行われました。

○オープニング集会(校長講話、テーマ・人権ソング発表、活動内容の説明)

○地域でふれあうあいさつ運動 12/1～5

○人権啓発リーフレットの掲示

○いじめ撲滅の授業(各学年)

○赤い羽根募金、資源回収

○人権擁護委員さんによる授業

(3年生、ハンセン病患者への差別)

○エンディング集会

(人権学習の振り返り、特別講演)

今年度は、創立50周年という記念の年でも

あるため、人権集中学習旬間の特別企画として「命の授業」で有名なゴルゴ松本さんにご講演いただきました。ご来場いただいた地域・保護者の皆様ありがとうございました。



地域でふれあうあいさつ運動



人権集中学習 オープニング

校内駅伝大会 12/12

当日は、強風が吹き校庭の砂が舞う厳しい天候でしたが、「一走入魂～気持ちのタスキを繋ぎきれ～」というスローガンのもと、生徒は元気に走り、そして応援しました。少し長い距離を走るということについて、得意な生徒、苦手な生徒がいるのは承知しています。本校で実施している駅伝大会は、マラソン大会と違い、走る距離や順番などを各チームで相談して



駅伝大会 選手宣誓



決めたすきをつなぎます。クラスのきずなや自分の役割を果たそうとする責任を感じながら走ることで、マラソンのような孤独感は少ないと感じます。生徒一人一人が、自分の区間を責任持って走り、応援し、大変盛り上がりのある行事となりました。走路の安全確保にご協力いただいた駐在さん、PTA役員さん、地域の皆さんありがとうございました。また、たくさんの応援をいただいた保護者の皆様ありがとうございました。

いじめ問題解決に向けた教育懇談会 11/27

11月27日(木)18:00から開催された「いじめ問題解決に向けた教育懇談会」では、東連携型小中一貫校にかかわる多くの方々に参加していただき、いじめ問題の解決に向けて熱心な議論が行われました。班別話し合いでは、「東人権サミット」で子どもたちが考えたいじめがなぜ起こるのか、なくなるのかという話し合いの結果を踏まえ、保護者、地域の方、教職員など様々な立場から活発な意見交換を行い、大人たちからのメッセージを考えました。主な意見として、「大人を頼ってほしい」「たくさん話してほしい」「お互いの立場を尊重することが大事」「相手の立場に立って考えられるように」などがあげられました。地域、保護者、学校が一体となっていじめ問題解決に取り組んでいくことの大切さが改めて感じられました。いただいたご意見をもとに学校運営協議会としてメッセージを策定し、児童生徒に伝えていきます。ご参会の皆様、ありがとうございました。



PTA親子環境整備作業 11/22

11月22日(土)、午前9時より、たくさんの生徒や保護者の皆さん、教職員が参加し、毎年恒例のPTA親子環境整備作業が行われました。部活動ごとに別れて分担された作業を行いました。保護者の皆さんと一緒に作業ということもあり、生徒はより一層頑張って作業に取り組んでいました。親子で一緒に作業をする姿はとても微笑ましいものだと感じました。きれいにさせていただいた学校で感謝の気持ちを持って生活していきたいと思います。



—県大会で入賞—

秋に行われた群馬県中体連新人大会において、本校の生徒が上位入賞を果たしましたので紹介いたします。大変良く頑張りました！

男子バレーボール 3位

陸上 女子走り高跳び 2位 男子走り高跳び 3位

おめでとうございます。冬の間もしっかりと練習して力を蓄え、今後もさらに活躍できることを期待しています。いつも支えていただいている保護者、関係者の皆様、ありがとうございました。

—三者面談お世話になりました—

本年度も1学期末、2学期末に三者面談を実施しました。保護者の皆様にはお忙しいところご来校いただきありがとうございました。これからも家庭と学校のつながりを大切にして、ともに生徒のよりよい成長につなげていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。